

## 会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	平成24年度第11回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	平成25年2月21日(木) 18時30分から20時10分まで			
開催場所	墨田区役所12階 123会議室			
出席者数	<p>【委員13人】          阿久沢委員 伊藤委員 宇田川副会長 久保田委員 小池委員          小木曾会長 島崎委員 清水委員 中島委員 永岡委員          野島委員 森下副会長 柳委員</p> <p>【事務局3人】 環境保全課長、環境管理担当主査及び職員</p>			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0名	
議 題	1 すみだ環境共創区民会議平成23・24年度活動報告書の作成について 2 平成25年度活動方針について			
配付資料				
会議概要	<p>1. すみだ環境共創区民会議平成23・24年度活動報告書の作成          環境保全課職員から、平成23・24年度活動報告書(案)について説明を受け、意見交換を行った。</p> <p>【主な意見等】          24年度に初めてすみだまつりに区民会議として出展した。その実績報告を載せた方がよい。          分会の表記は分かりづらい。実施委員会の表記が良い。          平成24年度の活動状況の流れが分かりづらい。          環境フェア(春)のスポーツGOMI拾い大会への参加の記載がない。          施設見学会と同様に項目を設け、環境フェアの参加について実施結果等を掲載する。24年度の活動状況からすみだまつりの部分は抜いて、環境フェアの参加にまとめる。島崎委員の「崎」は「崎」に変更する。事務局からの提案ですが、今回作成する活動報告書について、広く区民の方にも見ていただくため、図書館に寄贈を考えている。その点について、意見を伺いたい。          個人の活動のまとめを載せているので、委員の了解が必要。          区民会議をもっとPRするためにも、報告書を沢山作って、配った方が良い。          報告書は沢山作って、ホームページにも掲載していきたい。名簿には退任された方の名前も載っている。その辺は問題ないか。          退任者の名前を載せても構わない。          報告書は図書館へ寄贈する。</p>			

見学会には写真を載せた方が良い。  
印刷では白黒印刷になってしまうが、写真は掲載する。  
表紙の紙は厚めの紙にしてほしい。  
表紙については工夫する。

## 2. 平成 25 年度 活動方針について

環境保全課主査から、平成 25 年度の区民会議としての活動方針の取りまとめについて、説明を受け、意見交換を行った。

### 【主な意見等】

行事としては、6月に環境フェア。10月にすみだまつり。見学会をどうするか。提案ですが、鹿沼への1泊の環境に触れる研修。後は緑のゴーヤ、電気・ガスの省エネ生活活動。打ち水については、エコポイントから除かれるそうです。

23年度に共創プランの改定を行った。できれば、その前年に検討を始めないと、時間的に無理がある。いきなり改定について検討しろと言われても難しい。

区民会議としては区民の方への啓発活動が中心になってくると思う。

25年度の具体的な活動の内容ではなく、方向性を押さえることが大事だと思う。区民会議の役割とは、環境に配慮した生活様式を身につけること、区民・事業者・区が環境問題の現状と課題を共有化すること、環境にやさしい人づくり等があげられると思う。そのことが区民の啓発に繋がっていく。区民会議は黒子に徹し、啓発のためのステージを区民会議で作っていく。ステージに登場するのは区民で、それを支えていくのが区民会議だと思う。25年度はどのように区民会議を進めていくのか、お互いに共有化したうえで進めていかなければいけない。具体的に何をするかという中身は来期の委員で決めていけば良いと思う。方向性をここで決めておくべきだと思う。方向性とは区民会議の役割に尽きる。基本目標の5に区民会議の役割が凝縮していると思う。お互いに区民会議の立ち位置を押さえていかないと、来期の2年間、何ができたか見えて来ないと思う。区民会議の活動は楽しくやること、自らも環境問題を学ぶこと、学んだことを情報発信することが大切だと思う。情報発信のツールとして、スカイツリーを活用すること。「スカイツリーは環境にやさしい墨田の観光拠点。」これは、以前に山崎区長から紹介された言葉ですが、今は聞くことがなく、寂しく思っている。「スカイツリーは環境のテーマパーク」。ごみ問題にしる、地熱発電、太陽光発電にしる、スカイツリーには環境技術の全てが集約されている。スカイツリーのある墨田の環境対策というだけで、注目を集める。そのPR力を発揮することが、区民会議の役割だと考えている。

区民会議としてはPR活動が重要だと思う。区長は「スカイツリーは起爆剤」と言っているが、異業種交流グループ連絡会議でも産業の部分でスカイツリーの活かし方を検討している。区民会議としてスカイツリーをどのようにPR活動に活かしていくか、検討することが必要だと思う。

やさしいまちの委員会でも提案しているが、庁舎の前が自転車で溢れている。色々な会議で提案しているが、解決されない。環境関係の会議の横の繋がりを持つと、

もっと効果が上がると思う。

前期に一度、環境関係の会議があった。年に一回でもそういう会議があっても良いと思う。環境区宣言等のPRには、インパクトのあるキャッチコピーなどが有効ではないか。

墨田区が環境に取り組む姿勢のシンボルとしてある「地球くん」をもっと活用した方が良い。

これまでの墨田区の環境対策は、啓発活動に偏っていた。啓発活動しかやってこなかった。墨田区民の一人一人の環境意識は高い。しかし、墨田区の環境指標は資源化率、緑被率など、23区最低レベルにある。環境対策全体の仕組みを変えなければいけないと思う。

すみだまつり等で苗木の無料配布を行っているが、緑化の効果に繋がっていない。苗木が有効に緑化に繋がっているか、チェックすることも必要だと思う。手間隙を惜しまず行う必要がある。以前は「環境の墨田区」で通っていた。しかし、継続されていない。また、いくら区民会議の委員が省エネ生活報告をしても、区民に広めていかないと意味がない。委員は環境問題に対する意識が高いから当然だと思う。会議で検討はしていても、区民に広めていく活動が見えてこない。

方向性を考えるうえでは、現状の墨田を共有化する必要がある。先程、野島委員から墨田区民の環境意識は高いという話がありましたが、環境の意識が高いとは、どういう尺度で測るのか。環境フェアの参加者数か、参加団体数か、ふれあい館の入館者数なのか。そのバロメーターは何なのか。先ず現状を押さえて、方向性を導き出していくことが基本的な考え方ではないかと思う。また、他の自治体の環境団体等との意見交換も必要だと思う。

環境に対する意識が高いというが、意識を持っていてもそれを発揮する場がないのではないかと思う。来年度は、その場を区民会議で用意できるよう検討してもらいたい。

来期の区民会議の任期は2年なので、2年間の計画を立てた方が良い。1年目は現状の共有、2年目は啓発に必要な行動を行っていけば良い。啓発活動の場としては、環境フェアやすみだまつり等があるので、情報発信の仕方を工夫する必要がある。環境団体との交流については、確かに過去には行ったことがあったが、現在は区として環境団体の把握が難しいのではないかと思う。そこで、啓発活動の一環として環境団体を把握していくことも一つの方法かなと思う。やはり環境団体との交流はやる必要はあると思う。

4月のスタートがもの凄く大事だと思う。新旧委員がスムーズに融合することが必要だと思う。新旧委員へ今回作成する活動報告書を配付して、区の職員を含めて、アイデアや検討するテーマについて意見を出し合っていけば良い。

委員になって4年になる。環境について勉強するにはとても時間が掛かる。環境について概略を知ること必要だと思う。課題の把握を共有することは大切なことだと思う。実践に結びつく会議を行っていくということは、どの委員も思っている。新しい委員がいるので、区民会議で検討する課題は区の方で決めてもらいたい。

1年目は東日本大震災があった。2年目はスカイツリーが開業した。その時々

	<p>題を話し合うことも大事だと思う。</p> <p>最近になって区民会議で何をやっているのか何となく分かって来た。皆で検討したことを区民へ伝える方法がなかった。区民へ伝える手段を考えるべきだと思う。</p> <p>3. 次回の検討事項について</p> <p>会長より、次回は活動報告書及び平成 25 年度活動方針の方向性について話し合いを行うことが説明された。</p>
所 管 課	区民活動推進部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5463